

2011年3月11日

東日本大地震・津波・原発事故  
被災地・被災者を覚える礼拝

主催：日本基督教団兵庫教区

日時：2021年3月11日(木)午後2時

場所：オンライン・ライブ映像配信

配信協力：小栗献(神戸聖愛教会)

奏楽者	竹佐古真希	(白河)
	寺田晶子	(南相馬)
	越山香菜子	(八戸・聖公会)
司会者	若林一義	(芦屋西)
説教者	村岡博史	(塚口)

前	奏		奏楽者
招	き	詩編 139 篇 11～12 節	司式者
賛	美	心を高くあげよ!(讃美歌 21-18)	一 同
祈	り		司式者
聖	書	詩編 126 篇 1～6 節、 ヨハネによる福音書 12 章 23～25 節	司式者
賛	美	捕われの民(讃美歌 21-158)	一 同
説	教	「涙しつ種を蒔く」	説教者
祈	り		説教者
黙	禱		一 同
賛	美	ナルドの香油(讃美歌 21-567)	一 同
終	禱		説教者
後	奏		奏楽者
報	告		

## 招 き

わたしは言う。

「闇の中でも主はわたしを見ておられる

夜も光がわたしを照らし出す。」

闇もあなたに比べれば闇とは言えない。

夜も昼も共に光を放ち

闇も、光も、変わるところがない。

(詩編 139 篇 11～12 節)

日本聖書協会『聖書 新共同訳』より

## 「心を高くあげよ！」

"Lift up your hearts!" we lift them, Lord, to Thee  
 詞：Henry M. Butler, 1833—1918

SURSUM CORDA  
 曲：Alfred M. Smith, 1879—1971

1 「こころをたかくあげよ！」主のみこえにしたがい、た  
 2 きりのようなうれいも、やみのようなおそれ、み  
 3 主からうけたすべてを、ふたたび主にささげて、き  
 4 おわりの日がきたなら、さばきの座を見あげて、わ

だ主のみを見あげて、こころをたかくあげよう。  
 ▶ なうしろになげすつて、こころをたかくあげよう。  
 ▶ よきみ名をほめつつ、こころをたかくあげよう。  
 ▶ がちからのかぎり、こころをたかくあげよう。

(♩=63)

- 1 「こころを高くあげよ！」  
 主のみ声にしたがい、  
 ただ主のみを見あげて、  
 こころを高くあげよう。
- 2 霧のようなうれいも、  
 やみのような恐れも、  
 みなうしろに投げすて、  
 こころを高くあげよう。
- 3 主から受けたすべてを、  
 ふたたび主にささげて、  
 きよきみ名をほめつつ、  
 こころを高くあげよう。
- 4 おわりの日がきたなら、  
 さばきの座を見あげて、  
 わがちからのかぎり、  
 こころを高くあげよう。

アーメン。

コロ3:1-4 哀3:41 ヘブ12:1-2

この歌詞は、日本基督教団讃美歌委員会の許可のもと、複写し掲載しています。

日本基督教団讃美歌委員会著作物使用許諾第 4585 号

## 聖書

主がシオンの捕われ人を連れ帰られると聞いて

わたしたちは夢を見ている人ようになった。

そのときには、わたしたちの口に笑いが

舌に喜びの歌が満ちるであろう。

そのときには、国々も言うであろう

「主はこの人々に、大きな業を成し遂げられた」と。

主よ、わたしたちのために

大きな業を成し遂げてください。

わたしたちは喜び祝うでしょう。

主よ、ネゲブに川の流れを導くかのように

わたしたちの捕われ人を連れ帰ってください。

涙と共に種を蒔く人は

喜びの歌と共に刈り入れる。

種の袋を背負い、泣きながら出て行った人は

束ねた穂を背負い

喜びの歌をうたいながら帰ってくる。

(詩編 126 篇 1～6 節)

イエスはこうお答えになった。「人の子が栄光を受ける時が来た。はっきり言っておく。一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。自分の命を愛する者は、それを失うが、この世で自分の命を憎む人は、それを保って永遠の命に至る。

(ヨハネによる福音書 12 章 23～25 節)

日本聖書協会『聖書 新共同訳』より

## 捕われの民

When God delivered Israel  
版 : Michael A. Seward, 1932-

SHEAVES  
曲 : Norman L. Warren, 1934-

1 と ら わ れ の た み イ ス ラ エ ル は  
2 く に ぐ に が た め を み は る ほ ど の  
3 あ わ れ み の 主 は な や む た み に  
4 な み だ と と も に た ね ま く ひ と、

み め ぐ み の 主 に す く い だ さ れ て、  
ち か ら に み ち た み く わ ざ た た え て、  
す く い を あ た え、 か わ き を い や し、  
ゆ た か に み の る か り い れ の H に

よ ろ こ び の う た 主 に さ さ げ た。  
よ ろ こ び の う た 主 に さ さ げ た。  
よ ろ こ び の う た さ ず け ら れ る。  
よ ろ こ び の う た さ ず け ら れ る。

1~3 4

(♩=88)

1 捕われの民 イスラエルは  
みめぐみの主に 救い出されて、  
よろこびの歌 主にささげた。

2 国ぐにが目を 見はるほどの  
力に満ちた み業たたえて、  
よろこびの歌 主にささげた。

3 あわれみの主は なやむ民に  
救いをあたえ、 渴きをいやし、  
よろこびの歌 さずけられる。

4 涙とともに 種蒔く人、  
ゆたかに実る 刈り入れの日に  
よろこびの歌 さずけられる。

詩126 エレ31：16 ヨハ16：20 コヘ11：1 IIコリ9：6-8

この楽譜は、下記の許可のもと、複写し掲載しています。

日本基督教団出版局 楽譜版下使用許諾 No. 版021-024

日本音楽著作権協会(出)許諾第 2102171-101 号

“When God Delivered Israel”

music: Warren, Norman Leonard

words: Saward, Michael A

Copyright © 1973 by Hope Publishing Company, Carol Stream, IL 60188

All rights reserved. Used by permission





Master, no offering  
詞 : Edwin P. Parker, 1836—1925LOVE'S OFFERING  
曲 : Edwin P. Parker, 1836—1925

ナルドの香油 そそいで

主につかえたマリアを

おもいおこし、わたしのあい

さ—さげま—す、主イエスよ。アーメン。

(♩=96)

- |   |   |
|---|---|
| <p>1 ナルドの香油 そそいで<br/>主につかえたマリアを<br/>おもいおこし、私の愛<br/>ささげます、主イエスよ。</p> | <p>3 嘆くひとの望みに<br/>涙の地に平和を<br/>告げるために この私を<br/>ささげます、主イエスよ。</p>    |
| <p>2 弱い人に力を、<br/>暗い世には光を、<br/>わけあうため この私を<br/>ささげます、主イエスよ。</p>      | <p>4 この世のわざ果たして<br/>主のみもとに帰る日、<br/>平和のうちに主よ、私を<br/>受け入れてください。</p> |

マコ14:3 申15:7-11 マク5:16 エフェ5:1-2

この楽譜は、出版元である日本基督教団出版局の許可のもと、複写し掲載しています。

日本基督教団出版局 楽譜版下使用許諾 No. 版021-024

2011年3月11日の東北地方太平洋沖大地震・大津波、  
東京電力福島第一原子力発電所事故から一年の兵庫教区宣言

1. 東北の被災地、被災者に直接届く支援に幅広い人たちのつながりで力を注いできた兵庫教区及び被災者生活支援・長田センターは、これからもそのつながりを尊重しつつ、支援の働きを継続する。
2. 17年前の兵庫県南部大地震から5年、兵庫教区は「被災教区の震災5年目の宣教にあたっての告白」で、被災の後の歩みで「地域の再生なくしては、教会の復興はあり得ない」を宣教の指針としてきた。2011年3月11日の東北の大地震・大津波の後の被災地、被災者の支援においても、兵庫教区はその告白を基本にしてきた。東北の被災地、被災者の支援にあたって「被災教区の震災5年目の宣教にあたっての告白」を指針としてきた兵庫教区は、これからの支援にあたって「地域の再生なくしては、教会の復興はあり得ない」を支援の基本とする。
3. 2011年3月11日の東北の大地震、大津波の後を生きる人たちの生活すべてを、東京電力福島第一原子力発電所の事故が何よりも難しくしている。兵庫教区は、その事故においても、被災地、被災者に直接届く支援に力を注いできた。これからも、放射能で生活のすべてを奪われ、脅かされ続ける人たちに直接届く支援に力を注ぐ。

第66回／「合同」後43回兵庫教区定期総会採択  
(2012年5月20日～21日)

